

感染症発生動向調査／多摩立川感染症週報
2025年 第31週 (2025年7月28日～8月3日)

東京都多摩立川保健所 保健対策課 電話042-524-5171(代表)

*管内(立川市・昭島市・国分寺市・国立市・東大和市・武蔵村山市)の今週の感染症発生動向

【定点把握対象疾患】* 定点医療機関: COVID-19定点21医療機関・インフルエンザ定点21医療機関・小児科定点14医療機関・眼科定点2医療機関

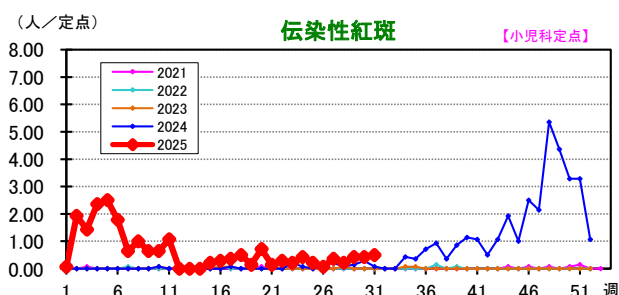
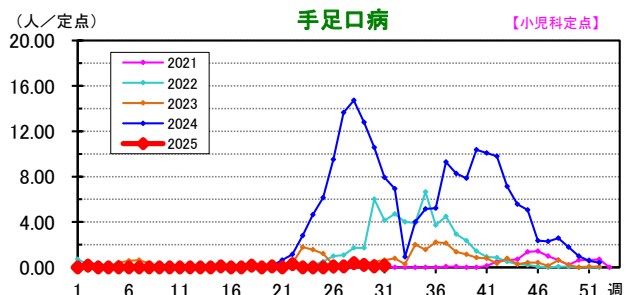
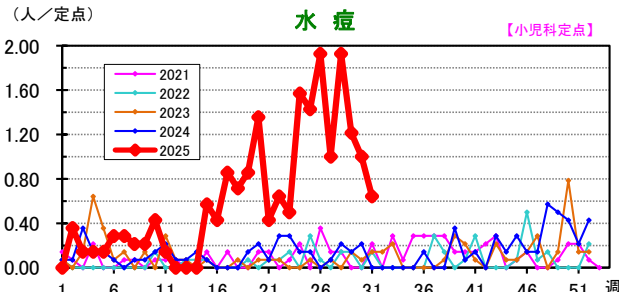
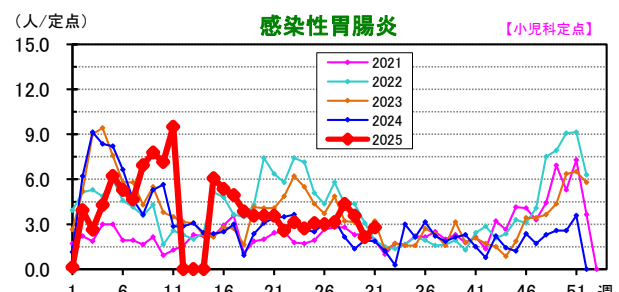
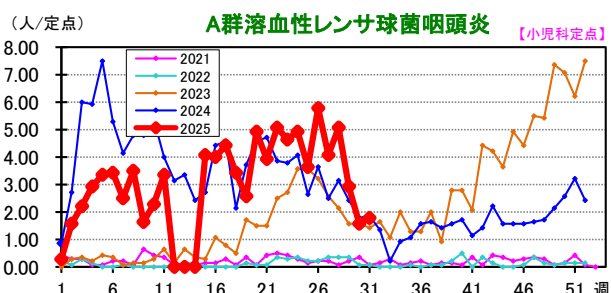
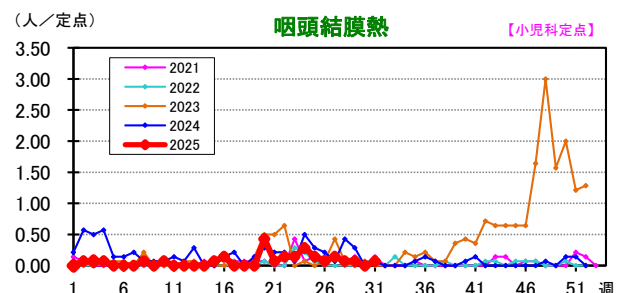
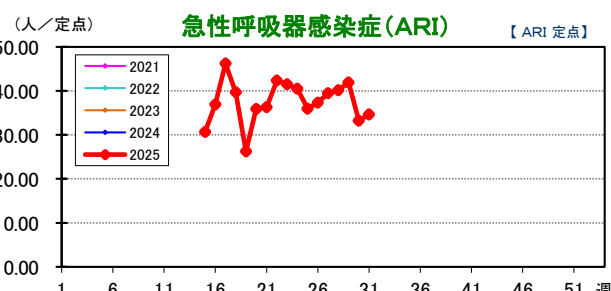
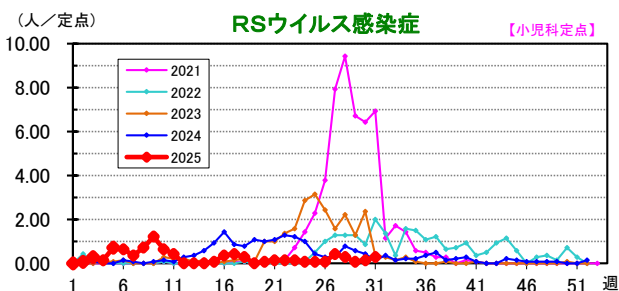
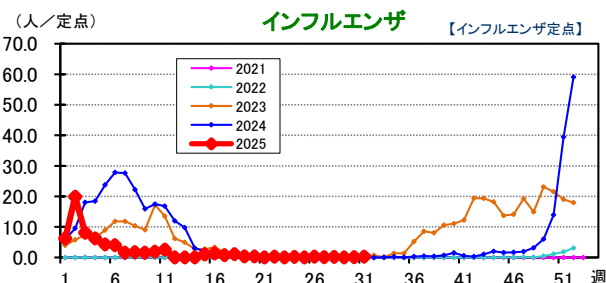
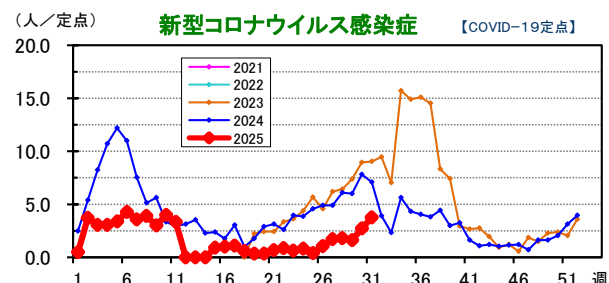
・新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数が3.76と先週より増加しています。今後の動向に注意が必要です。

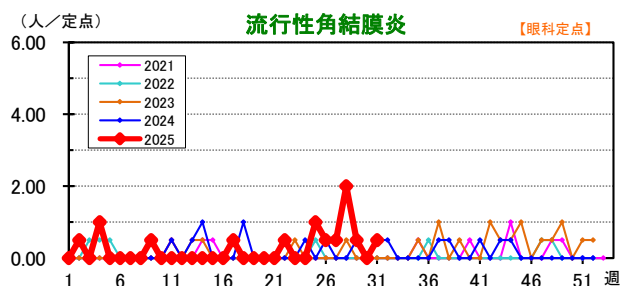
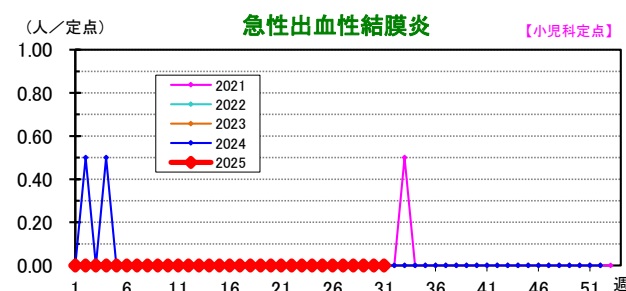
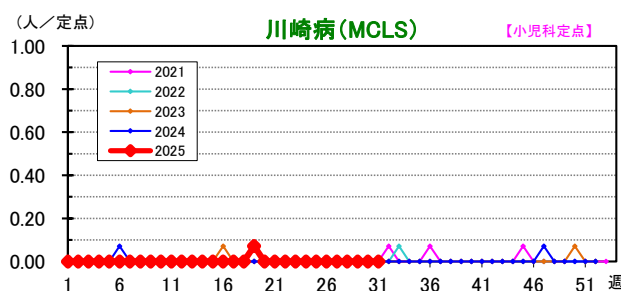
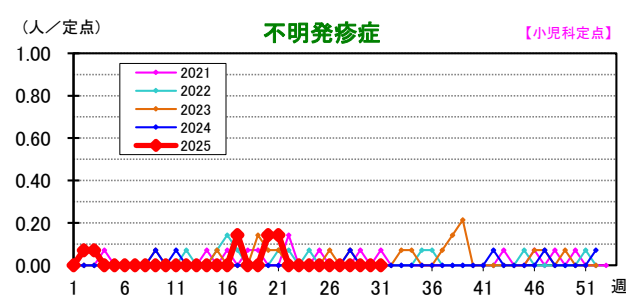
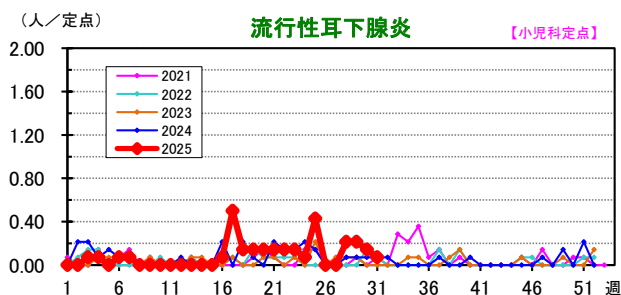
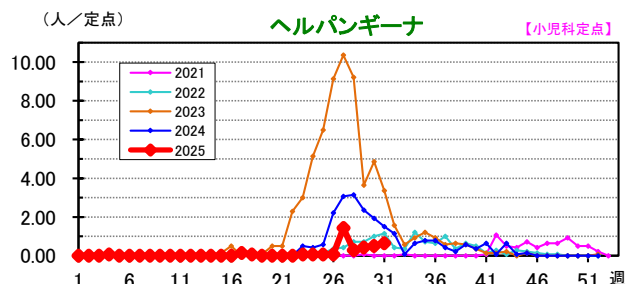
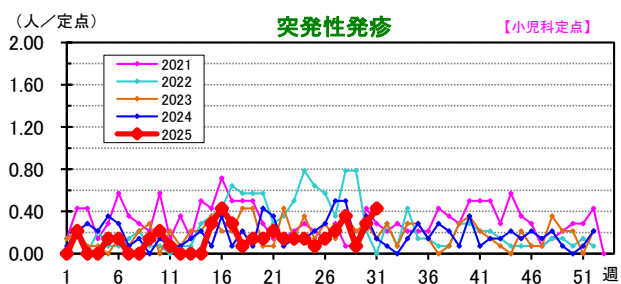
・感染性胃腸炎の定点当たり報告数が2.79と先週より増加しています。今後の動向に注意が必要です。

【感染症集団発生状況(新規)】

・新型コロナウイルス感染症2件(高齢者施設、医療機関)の報告がありました。

・手足口病1件(保育園)の報告がありました。





【都内の感染症発生動向について】
 東京都感染症情報センター
<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

【国内の感染症発生動向について】
 国立感染症研究所感染症情報センター
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/pdf-j.html>

*** 管内定点医療機関あたり報告数(直近4週間)**

疾病	2025								1週からの 報告累計数
	28週		29週		30週		31週		
	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	
新型コロナウイルス	38	1.81	34	1.62	57	2.71	79	3.76	1290
インフルエンザ	4	0.19	0	0.00	2	0.10	5	0.24	1441
RSウイルス感染症	4	0.29	1	0.07	2	0.14	4	0.29	125
急性呼吸器感染症(ARI)	843	40.14	880	41.90	698	33.24	728	34.67	13417
咽頭結膜熱	1	0.07	1	0.07	0	0.00	1	0.07	33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	71	5.07	41	2.93	22	1.57	25	1.79	1395
感染性胃腸炎	61	4.36	50	3.57	30	2.14	39	2.79	1913
水痘	27	1.93	17	1.21	14	1.00	9	0.64	284
手足口病	5	0.36	3	0.21	1	0.07	2	0.14	28
伝染性紅斑	3	0.21	6	0.43	6	0.43	7	0.50	291
突発性発疹	5	0.36	1	0.07	4	0.29	6	0.43	70
ヘルパンギーナ	4	0.29	6	0.43	7	0.50	9	0.64	55
流行性耳下腺炎	3	0.21	3	0.21	2	0.14	1	0.07	44
不明発しん症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	9
川崎病(MCLS)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1
急性出血性結膜炎	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
流行性角結膜炎	4	0.19	1	0.05	0	0.00	1	0.05	17

近年、都内では梅毒報告数が増加し、4年連続で過去最多となりました。東京都では8月に「梅毒予防集中啓発キャンペーン」を行い、夏休み期間の若者を中心に梅毒を知ってもらい、感染を防ぐように呼び掛けています。梅毒とは性感染症の一つで、性器にしこり等が出現し、治療が遅れると心臓や血管、神経に異常が現れ、死に至ることもあります。妊婦が感染すると胎児も感染し、死産や障害を持つことがあります。また一度感染しても免疫ができず、再度感染する恐れがあります。予防方法には、性交渉時に避妊具を使用する方法がありますが、口腔性交でも感染することから注意が必要です。

東京都 梅毒